

DeepSeekの衝撃

～NVIDIA1強時代の終焉か？～

2025/01/30

2月1日(土) 10～11時

AI・半導体ライブ開催

元村アナリスト登壇！

DeepSeekの話もします

市場概況 > NVIDIA

123.70 USD

-21.20 (-14.63%) ↓ 過去 5 日間

営業終了: 1月29日 18:54 GMT-5 • 免責条項

時間後取引 121.90 -1.80 (1.46%)

1 日 | 5 日 | 1 か月 | 6 か月 | 年初来 | 1 年 | 5 年 | 最大



DeepSeekとは何か？

DeepSeekは、**中国の会社**が作った新しい人工知能(AI)。これまでのAIと違い、計算をするときに「必要な部分だけ」を使う仕組み(MoE技術)を取り入れているので、**速くてコストが安い**のが特徴。ChatGPTなどと同じように文章を作ったり質問に答えたりできるが、低コストで動かせるため、多くの企業や研究者が注目している。

なぜNVIDIAの株価が下がるのか？

DeepSeekのようなAIが増えると、高価なNVIDIAのGPUをたくさん使わなくてもAIが動かせるようになるかもしれない。そうすると、NVIDIAの売上が減る可能性がある。

NVIDIA以外への半導体銘柄への影響は？

DeepSeekのようなAIが広まると、AI向けの半導体市場の勢力図が変わるかもしれない。NVIDIAのGPUの代わりに、省エネで安く作れるチップが注目される可能性がある。

一方で、AIの成長が続けば、半導体全体の需要は引き続き高まる。

DeepSeek登場で恩恵を受けるのは？

DeepSeekの登場で期待できる企業は、**低コストで動くAI向けの半導体を作る会社**や、**AIを活用してサービスを提供する企業**。

また、AIを活用するクラウド企業（Microsoft、Google、Amazon）や、AIツールを提供するSaaS企業も恩恵を受ける可能性がある。

AI・半導体ブームは終わるのか？

私見だが、むしろ加速するのではないか。

これまでNVIDIAのGPU価格高騰がAI普及におけるネックだったが、それを回避できる可能性が出てきた。比較的安い半導体でAIを動かせるということになると、**多くの事業者が参入**してくるだろう。それによって、様々な半導体が新たに生産される可能性が高い。

もっとも、NVIDIAにとっては「1強時代」の終わりを告げることになる。これまでのような高成長は見込めなくなるかもしれない。とはいえ、AI・半導体におけるキープレーヤーであることは、当面は変わらないだろう。

DeepSeekは盗用だという話も...

その可能性は高いかもしれないが、一方で「低コストでAIを動かす」という流れは変わらないように思う。

DeepSeekはオープンソースなので、良いか悪いかは別にして同じような話が拡大していくだろう。パンドラの箱が空いた。

結果として、AI・半導体の活性化は待ったなしに見える。